

議事概要

区 分	内 容												
会議名	令和 6 年度 第 1 回 みどり市地域公共交通活性化協議会												
日 時	令和 6 年 6 月 27 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分まで												
場 所	みどり市役所大間々庁舎 3 階 大会議室												
出席者	30 名（2 名欠席）※1 名兼務												
議 事	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 「みどり市地域公共交通活性化協議会」について 資料 1-1～1-4 に基づき、事務局より説明 5. 会長・副会長の選出 ○会長 ・ 前橋工科大学教授 森田 哲夫氏 が選出 ○副会長 ・ 大間々地区 民生委員児童委員協議会 副会長 星野 一雄氏 が選出 → 全会一致で承認 6. 監事の選出 ○監事 ・ 関東運輸局 地域公共交通マイスター 佐羽 宏之氏 が選出 ・ みどり市観光協会 代表理事 松嶋 一郎氏 が選出 → 全会一致で承認 7. 議事 < 報告事項 > (1)令和 5 年度のバス運行実績について 資料 2-1～2-7 に基づき、事務局より説明 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">質疑 (区長会長)</td><td>バス利用者の年齢層等は調査しているか</td></tr> <tr> <td>回答 (事務局)</td><td>どのバスも高齢者の利用が多い傾向であるが、詳細までは把握していない。大間々・笠懸路線バスについては 4 月から高校生の利用が増えている状況である。詳細については地域公共交通計画を作成する中で状況の把握、分析をしていく。</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">意見 (前橋工科大学教授)</td><td>バスの路線図は分かりやすく 1 枚にまとめていただきたい。</td></tr> </table> (2)「電話でバス」バス停の新設及び名称変更について 資料 3 に基づき、事務局より説明 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">意見 (前橋工科大学教授)</td><td>本日チラシを配布しているものの、バス停数が多いこともあり、どの場所のことだかが分かりづらい。このような説明資料は原則 1 枚にまとめて示すことができると良い。</td></tr> <tr> <td>回答 (事務局)</td><td>よりわかりやすい仕様となるよう改善検討していく。</td></tr> </table> (3)「大間々・笠懸路線バス」電気バスの導入について 資料 4 に基づき、事務局より説明 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">質疑 (前橋工科大学教授)</td><td>電気バスの購入費用はどのくらいか。</td></tr> </table>	質疑 (区長会長)	バス利用者の年齢層等は調査しているか	回答 (事務局)	どのバスも高齢者の利用が多い傾向であるが、詳細までは把握していない。大間々・笠懸路線バスについては 4 月から高校生の利用が増えている状況である。詳細については地域公共交通計画を作成する中で状況の把握、分析をしていく。	意見 (前橋工科大学教授)	バスの路線図は分かりやすく 1 枚にまとめていただきたい。	意見 (前橋工科大学教授)	本日チラシを配布しているものの、バス停数が多いこともあり、どの場所のことだかが分かりづらい。このような説明資料は原則 1 枚にまとめて示すことができると良い。	回答 (事務局)	よりわかりやすい仕様となるよう改善検討していく。	質疑 (前橋工科大学教授)	電気バスの購入費用はどのくらいか。
質疑 (区長会長)	バス利用者の年齢層等は調査しているか												
回答 (事務局)	どのバスも高齢者の利用が多い傾向であるが、詳細までは把握していない。大間々・笠懸路線バスについては 4 月から高校生の利用が増えている状況である。詳細については地域公共交通計画を作成する中で状況の把握、分析をしていく。												
意見 (前橋工科大学教授)	バスの路線図は分かりやすく 1 枚にまとめていただきたい。												
意見 (前橋工科大学教授)	本日チラシを配布しているものの、バス停数が多いこともあり、どの場所のことだかが分かりづらい。このような説明資料は原則 1 枚にまとめて示すことができると良い。												
回答 (事務局)	よりわかりやすい仕様となるよう改善検討していく。												
質疑 (前橋工科大学教授)	電気バスの購入費用はどのくらいか。												

回答 (事務局)	約 2,900 万円で、国の補助金が 3 分の 1 となっている。
-------------	-----------------------------------

質疑 (東地区民生委員児童委員協議会副会長)	これまで大間々町・笠懸町の良い報告があったが、東町についてはどうか。
---------------------------	------------------------------------

回答 (事務局)	東町については路線バスが走っているが、運行形態も含めて検討している。一方で、グループ 28 (交通空白地有償運送) では昨年度から利用料金を安くするなどの改善をしているところである。路線バスについては大きな改善ができていない状況であるため、今後、検討をしていく。
-------------	---

質疑 (東地区民生委員児童委員協議会副会長)	グループ 28 は料金が安くなり使いやすくなった上に、免許返納者などが利用するとなると、今後利用者が増えていくが、どのように対応していくのか。
---------------------------	---

回答 (事務局)	グループ 28 は使いやすくなったが、ドライバーの年齢等もあり、長期的に今のサービスが提供できるとは限らないため、そこも含めて今後、東町の公共交通について検討していく。
-------------	--

質疑 (前橋工科大学教授)	地域公共交通計画策定における地域的な範囲は。
------------------	------------------------

回答 (事務局)	みどり市全域である。
-------------	------------

質疑 (前橋工科大学教授)	公共交通とはどのような乗り物を想定しているか。
------------------	-------------------------

回答 (事務局)	みどり市が運営しているものも含めて鉄道やバス、グループ 28 などを想定している。
-------------	---

意見 (前橋工科大学教授)	誰でも利用できるものが公共交通である。 地域公共交通計画の中では、鉄道、路線バス、グループ 28 や福祉系の移動手段、あと近年の新しい乗り物も扱っていただきたい。
------------------	--

報告 (グループ 28 事務局長)	資料 2 のバス運行実績に加えて、グループ 28 の運行実績も掲載していただきたい。 東町で運転協力者 6 名、運行台数 5 台、利用登録者数約 200 名 令和 5 年度の運行件数は 1,319 件となっている。
----------------------	---

質疑 (前橋工科大学教授)	グループ 28 の利用条件はあるか。
------------------	--------------------

回答 (グループ 28 事務局長)	交通に不便を感じている方全員が対象であり、特に利用制限はない。
----------------------	---------------------------------

< 協議事項 >

(1)みどり市地域公共交通活性化協議会財務規程について

資料 5 に基づき、事務局より説明

→ 全会一致で承認

(2) 令和 6 年度事業計画(案)について

資料 6 に基づき、事務局より説明

→ 全会一致で承認

(3) 令和 6 年度予算(案)について

資料 7 に基づき、事務局より説明

→ 全会一致で承認

**(4) みどり市地域公共交通計画策定支援業務委託に関する
契約方法と委託内容について**

資料 8 に基づき、事務局より説明

質疑 (タクシー協 会会長)	タクシーは公共交通の一種だと認識しているが、4.委託内容 (1)現状整理 ウ.公共交通の実態整理に「タクシー」が入っていない。また、(2)移動実態及び利用者のニーズ把握のための各種調査の実施 イ.ヒアリング調査についても「タクシー」が最後に表記されているのはなぜか。
回答 (事務局)	(1)現状整理 ウ.公共交通の実態整理については「タクシー」の表記を追加して修正する。また、(2)移動実態及び利用者のニーズ把握のための各種調査の実施 イ.ヒアリング調査についてはそれぞれ並列して記載したが、表記の順番を調整する。

意見 (関東運輸 局地域公共 交通マイス ター)	歳出予算の大半が計画策定委託費でコンサルにいくが、現時点の市民生活を中心とした考えに基づいてアンケート調査等を行うのではなく、中長期的な視点を持ち、人々が自分事として考えてもらえるよう、計画策定にあたってはご配慮いただきたい。
---------------------------------------	---

質疑 (わたらせ溪 谷鐵道代表 取締役社長)	わたらせ溪谷鐵道は生活圏内外の方を運んでいる。生活圏外（観光客）の方の意見はヒアリング対象か。
回答 (事務局)	生活圏外（観光客）の意見も取り入れられるよう業者と検討する。

質疑 (赤城観光 自動車(株) 代表取締役)	労働人口の減少や交通従事者の人手不足、2024 年問題もあり、交通事業者として自治体の活動に寄与したいと思っているが、安全に運行するためにはコストや安全管理などの観点も含めてヒアリングいただき、計画を策定していただけるか。
回答 (事務局)	市外では減便等も余儀なくされている現状を承知している。コストとのバランスも考えて検討していく。
質疑 (前橋工科 大学教授)	今回出た要望や意見はどのように反映していくか。
回答 (事務局)	公募型プロポーザル（以下、プロポーザルと言う。）のプレゼンテーションで質疑、議論の場を設けることで要望や意見を反映できるよう柔軟な仕様書にする。

意見 (わたらせ渓谷鐵道代表取締役社長)	公共交通の 1 つの大切な視点として「脱炭素」があり、住民の意識調査(アンケート)をしてほしい。
回答 (事務局)	先日、本市は SDGs 未来都市に選定されたところだが、環境に配慮した取り組みの一つとして公共交通の持続がある。 大間々・笠懸路線バスを高校生が利用してくれるようになったことは、意識の変革に繋がっていると考えられるため、今後も周知していく。
意見 (わたらせ渓谷鐵道代表取締役社長)	群馬県でも学生への利用促進のチラシを配っている。パンフレットだけでなく、今後、直接意見を聞くなどして反映していただきたい。

意見 (関東運輸局地域公共交通マイスター)	現状維持が厳しい中で、限られる資源を最大限に生かし、脱炭素を意識した変革が必要である。
--------------------------	---

質疑 (株)沼田屋タクシー代表取締役)	業者選定や委託内容について、いつ承認を得るのか。
回答 (事務局)	本日この場で業者選定方法や委託内容について協議いただき、今後プロポーザルを実施していく。コンサルティング会社の選定に係る資料については、協議会にて資料の共有をさせていただく。
質疑 (株)沼田屋タクシー代表取締役)	プロポーザルの審査は誰が行うのか。
回答 (事務局)	本協議会の会長、副会長などを想定している。
質疑 (株)沼田屋タクシー代表取締役)	プロポーザルの実施スケジュールは資料 8 のとおりでないといけないのか。
回答 (事務局)	いけないわけではないが、ずれる可能性もある。令和 6 年度と 7 年度の 2 カ年で計画策定予定であることから、このようなスケジュールとなっている。

質疑 ((株)沼田屋 タクシー代表 取締役)	桐生市で計画を策定した際も同様だが、結果だけを示されてもどうにもならない。委員の意見を反映しつつ進めていただきたい。 委員が知らないうちに業者が決定し、契約締結するのか。
回答 (事務局)	スケジュールも含めて今後、会長と相談し、次回の会議前に情報共有する。また、業務開始前に方針について協議するなどして、丁寧な説明ができるよう努めていく。
質疑 ((株)沼田屋 タクシー代表 取締役)	契約締結の前に会議は開かれないのか。
回答 (事務局)	選考委員会の委員で、基準に則り選定する。 外部に出る前に委員へも情報共有を行う。

→ 全会一致で承認

- 8 その他
- 9 閉 会

以 上